

食文再入学…楽しい日々

授業の調理実習は女性3名男性2名のグループ毎で調理をしますが、手慣れた女性と一緒に悪戦苦闘しながらですが料理を作る楽しさが少しずつ分かってきました。何とか3年間やって行けそうです。

●庄田洋一（食文25期、鹿の子台南町在住）

何故、再入学したの？と聞かれることがあります。私の場合は、自分自身の引き出しの数を増やしたいと思ったからです。

人生100年時代と言われますが、古希を過ぎた私としては、いつ何時何が起きてもおかしくないと思っています。私は家内より先に逝く筈ですが、私が残される場合もあるかも知れません。もし、そのような事態になった場合、果たして私自身が衣食住で自立生活を送れるでしょうか。私は健康福祉コースで健康寿命を延ばすノウハウや、たとえば何らかの障害を持ったとしてもユニバーサルデザインのモノづくり、街づくりや仕組みづくりを活用すれば自立生活を続けられることを学びました。でも、食事は誰が作るのかな…毎日コンビニ弁当！それはないよな。

それなら、自分自身で料理を作れるようになろうと思い、食文化専攻で再入学の願書を提出しましたが、狭き門で補欠通知が届きました。ところが、入学式の1週間前に欠員が出て、運良く再入学となりました。



クラブ活動も前回できなかったものから近い将来役に立ちそうなものを選んで入会しました。インターネットクラブ、木工グループにグラウンドゴルフクラブです。未だにガラケーの私ですがインターネットクラブで情報時代の対応力を身に付けようと思っています。木工グループでは日曜大工や趣味の工作の幅を広げたいと思っています。現在続けているゴルフが思う様にできなくなった場合には、グラウンドゴルフを楽しもうと思っています。

▼24回学園祭で食文OBが開いたカレー店

有馬温泉ガイドやってみませんか

有馬観光ガイドボランティアは、KSCを卒業したメンバーで組織され、有馬温泉を訪れる観光客の案内やマップの配布、温泉の歴史や話題の説明を通じて、有馬温泉の活性化のために日々活動をしています。ガイド仲間を募集しています。年齢・性別は問いません。1か月に1～2度の活動に対し、多少の交通費やガイド料が支給されます。興味のある方は下記までお問合せください。有馬観光ガイドボランティア代表・奈良正明（生環18期） 携帯090-4569-6375

メール nara@ebony.plala.or.jp

介助ボランティア募集

しあわせの村にある特別養護老人ホーム・神港園で介助ボランティアを募集しています。入居者に月2回、入浴後の髪にドライヤーをあてて乾かすこと、水分補給をしてあげることが主な仕事です。KSCの仲間ですでに15年ほど続けています。ボランティアは「誰かが喜んでくれたら嬉しい」と自ら始めるものです。興味のある方は、下記までお問合せください。神港園介助ボランティア代表・淡路忠義 携帯090-6235-6988

他区会の動き

【グループわのHPから】

▼垂水 ジェームス山グラウンドボウルで11月30日、ボウリング大会を開催。23人が参加して2ゲームを楽しんだあと、食事をしながら懇談した。

▼須磨 奥須磨公園で10月28日、ウオークラリー大会を開催した。9チームが参加、約4キロのコースに12のチェックポイントを設置。ニアピンチームが優勝した。

▼西区 10月30日、宝塚の旧福知山線の廃線跡を歩くウオーキングを開催。山道を散策して紅葉を楽しんだ。

▼長田 11月12日にしあわせの村内でバードウォッチングと植物鑑賞の会を開催。12人が参加して秋の1日を楽しんだ。

▼中央区 10月7日に秋の街中散策イベントを開催。布引野水池や烏原野水池など、神戸の水道のルーツを訪ね、水の科学博物館まで足を延ばした。

▼兵庫 日本遺産を訪ねてのテーマで10月9日、兵庫津周辺の湊八幡神社、兵庫大仏、高田屋嘉兵衛本店跡を15人ほどで散策した。